

# 鎌倉芳太郎紅型型紙資料に書かれた年号と型紙の大きさの関係についての研究ノート

山田 葉子

沖縄の王朝時代の工芸史の一端を担う染織資料の編年を研究することは重要な課題であるが、その製作年代の特定はたいへん困難である。なぜなら、資料そのものに年代を特定する年号等が書かれていることがほとんど無いからである。日本国内では、皇家や武家の伝来品、寺院に奉納された際の年号の記載、小袖の雛形や絵画資料など年代特定の可能な染織資料が多数あり、そのため染織品の編年研究も充実している。一方沖縄は、第2次世界大戦で首里の王族・士族の御殿がほとんど焼失したという事情もあり、現存する資料の全体数がそもそも非常に少ないという不利な条件にある。

その数少ない王朝時代の染織資料の中で、鎌倉芳太郎（1898～1983・以下鎌倉）が大正末期から昭和初期にかけて収集した紅型関係資料に含まれる紅型型紙には、表面に年号が書き込まれている資料が複数ある。本稿ではこの紅型型紙を取り上げ、その表面に書かれた年号と型紙の大きさの関係について考察を試みることにする。

## 1、 鎌倉芳太郎紅型関係資料とは

鎌倉芳太郎資料とは、沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館が所蔵する、鎌倉が大正末から昭和初期にかけて行った琉球芸術調査の結果残された調査資料の総称である。美術研究家・紅型作家である鎌倉は、尚王家縁の宝物をはじめ、建築、絵画、彫刻、工芸品などの貴重な文化財を数多く調査し、資料の収集を行った。紅型型紙資料は大正13年に那覇市の知念家と城間家から、大正15年に那覇市の沢岬家とその分家から収集されたものである。（鎌倉芳太郎『古琉球紅型 第二期』京都書院 1979）

本学へは四度にわたり鎌倉家から資料が寄贈され、現在約8000点が附属図書・

芸術資料館において保管されている。資料は文書資料、写真資料、染織資料、陶磁器資料からなり、染織資料の中に紅型関係資料として紅型型紙、紅型裂、着物、風呂敷等がある。その中で、紅型型紙資料は1414点が収蔵されている。鎌倉の収集した紅型型紙資料は、本学以外には日本民藝館、沖縄県立博物館、金沢美術工芸大学などに収蔵されている。

## 2、 型紙に書き込まれた年代

紅型型紙資料の表面に様々な文字情報が記入されていることは既に報告されている。柳悦州「画像データベースの基礎構築-紅型型紙の比較研究のために-」(『沖縄芸術の科学』沖縄県立芸術大学附属研究所紀要11 1999)によると、紅型型紙資料1414点のうち、何らかの文字情報が確認できる型紙は524点あり、その内容は、人名、地名、年月日などである。(表1)

今回の524点を精査した結果、年月日と認識できる記入のあった型紙は216点であった。年月日の記入は、1・年月あり、2・年のみあり、3・月のみあり、4・十千十二支あり、5・十二支ありの5種類に分けられる。ちなみに月のみ、十二支のみなどの年月日はその他の部分が欠落してしまっている、あるいは解読不可能なものである。1から5までのうち年代が特定可能なのは1と2で112点あり、紅型型紙資料全体の約1割にあたる。

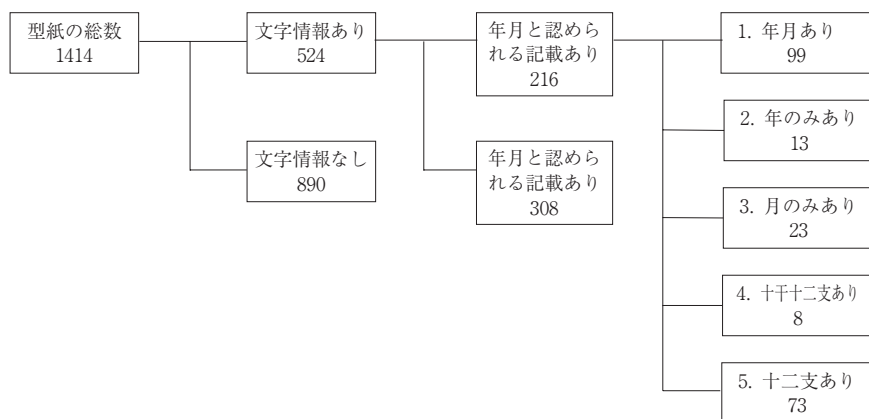


表 1

### 3、年月日記入のある型紙の大きさとの関係

型紙は大きさにより1・奉書紙大の大模様、2・奉書紙2/3の三分二中手模様、3・奉書紙1/2の中手模様、4・奉書紙1/4の中模様・細模様、の4種類に分類することができる。表2では型紙資料全体数と年代記入のある型紙を、総数と大きさ別に分類したときの実数と割合の比較を示した。

模様構成	型紙全体		年月日あり		年の特定可能		
	資料数	割合	資料数	割合	資料数	割合	
1 大模様	529	38	105	49	57	50	
2 三分二中手模様	82	6	14	6	8	7	
3 中手模様	269	19	41	19	22	20	
4 {	中模様	419	30	46	21	21	19
	細模様	104	7	10	5	4	4
合計	1403	100	216	100	112	100	

(注)

(注)破損などで型紙のサイズが不明なものを除くと1403点となる。

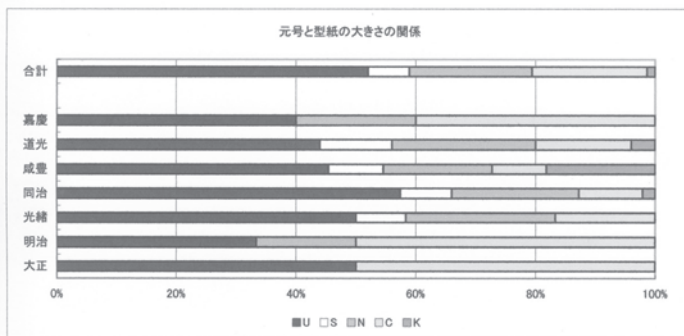
表2

型紙資料全体でみた場合、1：2：3：4の割合は37：6：19：37である。(柳悦州 平田美奈子 豊見山愛『沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵 鎌倉芳太郎資料集 第二巻 紅型型紙(二)』沖縄県立芸術大学附属研究所 2003)それに対して、年月日記入のある型紙は49：6：19：21であった。このことから、年月日の記入された型紙は比較的大模様の型紙が多い傾向にある事がわかった。参考として、年の特定が可能な1と2を足した112点を同じように比較してみたが、年月ありの型紙全体の割合とさほど差異がない事がわかった。

### 4、元号別に見た型紙の大きさの傾向

次に、表3に元号別に分けたときの型紙の大きさの分布を示した。年月の記載のある型紙216点のうち、元号が特定可能な型紙は112点である。そのうち3点の型紙に異なる年号が書かれているので(型紙番号176番と611番と916番)、分析対象となった点数は115点である。参考データとして型紙全体の大きさ別の割合を示した。

元号	西暦	年数	現存する資料数	内訳				
				大模様	三分二中手模様	中手模様	中模様	細模様
1 乾隆	1736年 - 1795年	60	0	0	0	0	0	0
2 嘉慶	1796年 - 1820年	25	5	2	0	1	2	0
3 道光	1821年 - 1850年	30	25	11	3	6	4	1
4 咸豊	1851年 - 1861年	11	11	5	1	2	1	2
5 同治	1862年 - 1874年	13	48	27	4	10	5	1
6 光緒	1875年 - 1908年	34	12	6	1	3	2	0
7 明治	1868年 - 1912年	45	12	4	0	2	6	0
8 大正	1912年 - 1926年	15	2	1	0	0	1	0
合計			115	56	9	24	21	4
割合			100	49	8	21	18	4

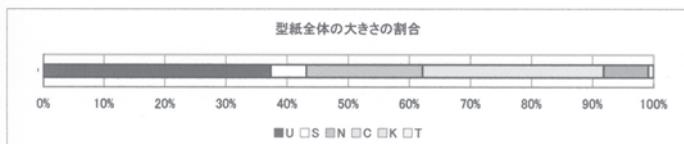


※U=大模様、S=三分二中手模様、N=中手模様、C=中模様、K=細模様、T=その他

参考データ

型紙全体の大きさの割合

現存する資料数	割合	内訳					その他
		大模様	三分二中手模様	中手模様	中模様	細模様	
合計	1414	528	82	269	419	104	12
割合	100	37	6	19	3	7	1



※U=大模様、S=三分二中手模様、N=中手模様、C=中模様、K=細模様、T=その他

表 3

年号で最も古いものは嘉慶2（1797）年、最も新しいものは大正11（1922）年である。元号別に分けたときに最も点数が多いのは同治年間の型紙で、最も少ないのは大正である。元号によって年数に差異があるにも関わらず最も多く残っているのは比較的年数の少ない同治年間の型紙であるが、これは近年になるほど資料が残存する可能性が高いことを表していると思われる。しかしそれより更に時

代の新しい明治・大正の点数が少ないのは、明治以降になると琉球王朝の崩壊で紅型の製作数が激減したことを如実に表していると言えよう。また、光緒と明治は年代が一部重なっているにもかかわらず、同数の点数が残っている。これは、沖縄の社会が元号が明治に変わっても慣習として中国歴を使い続けていた事を示していると言えよう。

大きさに眼を向けると、表2でも示したとおり、全体を通して年号が書かれた型紙は大模様型が平均よりも多い事が改めて分かる。中でも最も大量の資料が残っている同治年間は大模様型が50%を越える高い割合となっている。明治年間は一様大模様型が30%代と低くなっているが、光緒年間と重なっているため、二つの年間を足して平均を取るとやはり40%以上の高い割合となる。嘉慶年間は資料数が5点と極端に少ないためほかの年間と比較しづらいが、総じて比較的細かい柄の型紙が多い傾向にある。

また、大模様に次いで割合が高いのは中手模様と中模様だが、咸豊年間のみ細模様が中模様と同じ割合を示している。同光から光緒までは中手模様が多くの、明治・大正になるとより小さな中模様の割合が多くなってくる。

## 5、年号の意味するもの

これら年号が書かれた型紙の意味するところは、多くの場合年月の記載に続けて「○年○月仕立」とあることから以下の可能性が考えられる。

- 1・型紙自体が製作された年代
- 2・型紙によって布地が染められた年代
- 3・型紙によって染められた布地が納品された年代

いずれにしろ、型紙そのものの製作年代と大きく差異は無いと推察される。

次に、なぜ年代の書かれた型紙と書かれていない型紙があるのかという疑問がある。仮に、年代の書かれた型紙が年号を書く必要があった型紙なのだと捉えると、公的な用途で取り扱われた可能性が類推される。例えば冊封行事の御冠船踊や中国への献上品など、王府として公的な目的をもって製作された紅型と何らかの関わりがあったため年号を記載しておく必要があったのではないか。この点に関しては今後型紙資料と現存する紅型資料との照合によって新たな発見が為されるかもしれない。

## 6、問題点

今回は鎌倉芳太郎紅型型紙資料を元に、年代記入のある型紙を抜粋し、その大きさととの関係の検証し年代別の傾向を明らかにしようと試みた。年号と型紙の属性との関係は更なる検証が必要であるが、根源的な問題として本学が所蔵する100点余りの資料数では時代別の傾向を明らかにするには資料数が絶対的に不足している。この点は、今後本学以外の所蔵館と協力して紅型型紙資料にも検証の範囲を広げ、資料数を更に増やしていく事で時代別の型紙の傾向がより一層明確にできるのではないかと期待するものである。

## 7、おわりに

以下に示す表4は表3で分析対象となった元号が記入された紅型型紙資料を年代順に並べ直した一覧表である。一部年数の不明な資料は推定で年代を特定した。文字情報の中から年号部分を抜粋し、対応する西暦を追加してある。

	所蔵先 番号	型紙名称	文字情報	年号 抜粋	年号 西暦	型大きさ
1	519	波菊河骨雁模様白地型紙	「藏藏藏」「藏藏藏」「嘉慶二年丁巳七月《当藏》村知念にや」	嘉慶2年丁巳7月	1797	中手模様
2	484	網目に貝桜散らし模様白地型紙	「(裏) 大清嘉慶七年壬戌七月 [= = = =]」	嘉慶7年壬戌7月	1802	中模様
3	357	波模様白地型紙	「安慶田殿内」「(裏) 嘉慶八年癸亥十一月仕立比嘉筑登之親雲上」	嘉慶8年癸亥11月	1803	中模様
4	1275	雲に青海波貝水草葵模様白地型紙	彫「岷 澤 大」墨「嘉慶二拾五年庚辰十月二日拾一模様之内太澤岷仕立」	嘉慶25年庚辰10月2日	1820	大模様
5	969	流水菖蒲模様白地型紙	墨「大清嘉慶二拾六年卯月桃原村知念」	嘉慶26年卯月	1821 (注1)	大模様
6	815	斜縞に鳳凰桐牡丹模様半白地型紙	「(裏) 大清道光二年壬午十二月八日仕立下儀保村知念親雲上」	道光2年壬午12月8日	1822	三分二中手模様
7	978	扇雷瑞雲模様白地型紙	朱「次男沢岷」墨「大清道光貳年壬午霜月桃原之知念にや」裏「？」	道光2年壬午	1822	大模様
8	1181	斜格子に扇梅菊丸模様白地型紙	「道光三年癸未三月六日仕立下儀保嫡子知念也」	道光3年癸未3月6日	1823	三分二中手模様
9	192	竹鉄線模様白地型紙	彫「念 知 儀 下」墨「□□□□」「■」「城間親雲上羽地王子」裏「道光三年癸未三月五日仕立下儀保村□□(知念?)」「九?」「内間」	道光3年癸未3月5日	1823	大模様
10	1103	竹鉄線模様白地型紙	彫「念 知 儀 下」墨「道光三年癸未三月六日仕立下儀保嫡子知念にや」裏「？」	道光3年癸未3月6日	1823	大模様

	所蔵先 番号	型紙名称	文字情報	年号 抜粋	年号 西暦	型大きさ
11	1172	垣根葎薇模様染地型紙	墨「大清道光四年甲申十月十一日 仕立下儀保村知念之(杓?)」	道光4年甲申10 月11日	1824	大模様
12	1150	巻物鞠楓模様白地型紙	墨「道光四年甲申九月十六日切調 大□模様手本之通」	道光4年甲申9月 16日	1824	大模様
13	649	蛇籠葵梅散らし模様白地 型紙	「(彫)下儀知念」「道光五年乙酉十 月廿六日下儀保村知念筑登之」	道光5年乙酉10 月26日	1825	中手模様
14	65	あられに萩模様染地型紙	「間」「大清道光六年丙戌九月十一 日当蔵村沢岨」	道光6年丙戌9月 11日	1826	中模様
15	176	山水風景模様白地型紙	「(彫)下儀知」「式」「大清道光六 年丙戌十二月吉日四枚切調 下儀 保村 知念□(筑登之カ)親雲上」 「(裏)大清道光七年丁亥十一月吉 日伐調候事下儀保村 [= = = = ]」	道光6年丙戌12 月吉日/道光7年 丁亥11月吉日	1826/ 1827 (注2)	中模様
16	513	麻の葉に花の丸模様染地 型紙	「(彫)シモキ」「大清道光七年丁亥 五月 下儀保村知念筑登之親雲 上」	道光7年丁亥5月	1827	中手模様
17	575	菊貝観世水模様白地型紙	「(彫)下儀知」「大清道光七年丁亥 正月廿五日切調下儀保村 知念筑 登之親雲上」「御守差候可被」	道光7年丁亥正月 25日	1827	中手模様
18	347	観世水模様染地型紙	差物□□「大清道光七年○丁亥七 月廿一日下儀保村」	道光7年○丁亥7 月21日	1827	中模様
19	1130	斜織に鶴貝流水鳥模様染 地型紙	墨「大清道光八年戊子正月三枚切 調 下儀保村知念筑登之親雲上」	道光8年戊子正月	1828	大模様
20	712	竹梅雀模様白地型紙	台紙記「大清道光九年己酉十一月 吉日三枚切之内下儀保村知念筑 親雲上」	道光9年己酉11 月吉日	1829	中手模様
21	534	垣根源氏車草花模様染地 型紙	「木之下沢岨小」「(裏)道光拾年庚 寅九月廿七日」	道光10年庚寅9 月27日	1830	中手模様
22	1215	市松七宝繫ぎに窓絵巻物 梅模様白地型紙	朱「大沢」墨「沢」「上」「岨」「上」 「丑ノ六月六日 上儀保村 沢岨 筑登之親雲上」裏「大清道光(式 拾老年?)辛丑 五月(二?)日 □□□□ 上儀保村沢岨筑登之親 雲上」	道光(21年?)辛 丑	1841	大模様
23	1332	花模様白地型紙	墨「魂魄」「字根筑登之」「□(良?) 阿蘭陀模様之仕」裏「道 道光 式拾貳年壬寅十月 道光光」「道光 式拾□年壬寅十月廿四日切仕立字 根筑登之□」「模様」	道光22年壬寅10 月	1842	大模様
24	73	小花入り亀甲繫ぎ模様染 地型紙	「道光式拾三年癸卯九月吉日仕立」	道光23年癸卯9 月吉日	1843	細模様
25	1019	波に梅桜鳥模様白地型紙	墨「道光式拾三年癸卯正月仕立当 蔵村沢岨筑登之親雲上」裏「当蔵 村沢岨」	道光23年癸卯正 月	1843	大模様
26	1412	霞に樓閣風景模様白地型 紙	彫「チムシ」・台紙記「道光二十四 年甲辰下儀保村知念筑親雲上」	道光24年甲辰	1844	中手模様
27	1336	山水模様染地型紙	墨「大清道光式拾八年戊申五月二 十四日」「かな城間にや」	道光28年戊申5 月24日	1848	大模様
28	477	鉄線梅楓松葉模様染地型 紙	「道光式拾八年申六月老牧仕立原 國記」	道光28年申6月	1848	中模様

	所蔵先 番号	型紙名称	文字情報	年号 抜粋	年号 西暦	型大きさ
29	1363	遠山鶴桜模様染地型紙	裏「道光三拾年戊五月十七日伐分」 「当蔵村」 「御酒代城間筑登之親雲 上道光」 「当 当 當蔵村」 「御酒 代御酒代」 「御酒」	道光30年戊5月 17日	1850	大模様
30	15	七宝繋ぎ模様染地型紙	「大清咸（豊：脱）四年甲寅九月十 六日之切」	咸豊4年甲寅9月 16日	1857	細模様
31	991	松竹梅模様染地型紙	朱「咸豊四年甲寅六月三日式枚也 下儀保村知念親雲上」	咸豊4年甲寅6月 3日	1857	大模様
32	1013	芒に鴨風景模様白地型紙	墨「咸豊七年丁巳二月二十一日切 調四枚之内下儀保村知念筑登之親 雲上」	咸豊7年丁巳2月	1857	大模様
33	1285	芒に鴨風景模様白地型紙	「（彫）下儀知念」「道光五年乙酉十 月廿六日下儀保村知念筑登之」	咸豊7年丁巳2月 21日	1857	大模様
34	1322	流水遠山干綱模様白地型 紙	墨「？（文字復数）裏「咸豊七年 巳五月廿七日切調下儀保村知念筑 登之親雲上」 「和字慶筑登之親雲 上」	咸豊7年巳5月27 日	1857	大模様
35	4	七宝繋ぎ模様白地型紙	「三枚之内」「咸豊八年戊午四月吉 日」 「（裏）瀬名波筑登之親雲上」	咸豊8年戊午4月 吉日	1858	細模様
36	799	万字繋ぎに菊桜模様半白 地型紙	「（朱）咸豊五年卯九月三十日 四 枚之内 下儀保村知念筑登之親雲 上」	咸豊5年卯9月30 日	1858	三分二中 手模様
37	1289	万字繋ぎに花丸模様半白 地型紙	裏「咸豊五年卯九月八日切調式枚 之内下儀保村知念記」	咸豊5年卯9月8日	1858	大模様
38	158	竹松梅模様白地型紙	「咸豊五年乙卯通書大城間にや」 「（裏）□ □ □ 二十 九 八」	咸豊5年乙卯	1858	中模様
39	611	松皮菱に牡丹模様白地型 紙	「咸豊拾貳年年 同治貳年御機嫌」	咸豊12年／同治2 年	1858/ (注3) 1863	中手模様
40	253	枝垂れ梅蝶模様染地型紙	「当蔵村友寄記」「（裏）大清同治□ □□戌六月仕立」	同治□□□戌6 月	1862or 1874 (注5)	中模様
41	1075	松皮菱鶴丸模様白地型紙	彫「キムシ」墨「葉 松葉 五段 □□ 鶴亀松模様 同治三年□□ （甲子カ）」 「亀思亀名代」	同治3年□□（甲 子カ）	1864	大模様
42	582	桜蝶尽くし模様染地型紙	「（彫）沢岷」「大清同治六年丁卯十 一月六日式枚内 上儀保村大屋 之 沢岷筑登之」	同治6年丁卯11 月6日	1867	中手模様
43	1193	菊菖蒲垣根模様白地型紙	朱「大清同治七年六月仕立沢岷真 和志」裏「真友寄にや 式枚切」 「かめ友寄」	同治7年6月仕立	1868	大模様
44	889	霞雪持ち笹梅鶴模様白地 型紙	墨「大清同治七年辰十二月 仕立 三枚切当」「沢岷小」裏「当蔵村 沢岷記」	同治7年辰12月	1868	大模様
45	1302	霞雪持ち笹梅鶴模様白地 型紙	墨「大清同治七年辰十二月廿日一 枚友寄にや」	同治7年辰12月 20日	1868	大模様
46	1325	霞に菖蒲牡丹枝垂れ桜模 様白地型紙	墨「大清同治七年辰六月仕友寄に や かめ かめ」「御酒代友寄筑登 之」「□」裏「真和志村友寄にや□ □枚」	同治7年辰6月	1868	大模様



	所蔵先 番号	型紙名称	文字情報	年号 抜粋	年号 西暦	型大きさ
47	1058	菊垣根模様白地型紙	墨「大清同治七年辰九立三枚切 沢岬小内友寄」「友」	同治7年辰9	1868	大模様
48	625	万字繫ぎに貝菊梅模様半 白地型紙	「同治七年□(辰カ)三月立一枚 友寄□□(にヤカ)」「(裏)かめ友 寄」	同治7年□(辰 カ)3月	1868	中手模様
49	715	竹格子に松竹梅鶴散らし 模様白地型紙	「同治七年《□》辰正月代銭百拾五 貫文」「巳二月立式枚切かめ友寄 にや」	同治7年□辰正 月	1868	中手模様
50	1254	桐藤牡丹鳳凰模様白地型 紙	墨「大清同七年丑二月吉日大里御 殿前之沢岬記」	同(治?)7年丑2 月吉日	1868 (注6)	大模様
51	1222	雲に梅松風景模様染地型 紙	墨「真和志村沢岬小式枚切」裏 「明治・・・沢岬小立仕」「羽地□」 「□□□□(三?)年」「立」「□」	明治・・・	1868- 1912 (注7)	大模様
52	1006	菊菖蒲垣根模様白地型紙	裏「大清同治八年巳二月立かめ 友寄」「友寄立式枚切」	同治8年巳2月	1869	大模様
53	552	斜格子に菊模様白地型紙	「大清同治八年巳正月立真和志 村友寄」	同治8年巳正月	1869	中手模様
54	344	斜格子に四つ菱模様染地 型紙	「同治八年巳三月吉日」「上」「知念 續朗」「(裏)同」	同治8年巳3月吉 日	1869	中模様
55	359	笹模様白地型紙	「同治八巳巳年十月杓買求赤平 村知念筑登之」「(裏)赤知」	同治8巳巳年10 月	1869	中模様
56	1029	霞松竹梅鶴模様白地型紙	「同治九年午二月立友寄」裏「同 治九年二月立友寄」	同治9年午2月	1870	大模様
57	1340	稲妻に楓桔梗丸模様白地 型紙	墨「亥二月廿日大沢岬仁王」朱 「同治九年寅□□月□日下儀保村 沢岬」	同治9年寅□□月 □日	1870	大模様
58	599	雲に青海波鳥模様白地型 紙	「同治拾年未五月十五日式枚ノ内 下儀保村知念にや」	同治10年未5月15 日	1871	三分二中 手模様
59	1036	稲妻に楓桔梗丸模様白地 型紙	裏「大清同治十年」	同治10年	1871	大模様
60	941	立涌に雪輪橘桜と笠牡丹 模様半白地型紙	墨「大清同治十年辛未四月十日下 儀保村知念にや」	同治10年辛未4 月10日	1871	大模様
61	864	稲妻に雪輪菊松竹梅鶴亀 模様白地型紙	墨「大清同治十年辛未四月十二日 上儀保村大屋ノ澤岬筑登之」	同治10年辛未4 月12日	1871	大模様
62	841	流水に松竹梅鶴亀模様白 地型紙	裏「同治十年辛未正月吉日立立 当蔵村友寄記 式枚切」	同治10年辛未正 月	1871	大模様
63	1246	菊鳴流水模様白地型紙	裏「同治拾年未□」	同治10年未	1871	大模様
64	1069	霞椿鉄線模様染地型紙	丸彫「上」裏「大清同治拾年未三 月十日下儀保村知念にや」	同 治10年 未3月 10日	1871	大模様
65	1255	流水桜模様白地型紙	銘「大清同治拾年未四月十日下儀 保村知念にや」	同治10年未4月 10日	1871	大模様
66	1320	菊模様白地型紙	裏「大清同治十年未四月十日下儀 保村知念にや」	同治10年未4月 10日	1871	大模様
67	926	雲に若松菊鶴亀丸模様白 地型紙	裏「同治十年未正月立立当蔵村友 寄□□」墨「友寄筑登之」「浦」 「同治□□ 御(東:小)用 友寄 筑登之」	同治10年未正月	1871	大模様
68	982	流水菖蒲桜模様白地型紙	裏「大清同治拾年未正月立式枚 切当蔵村」	同治10年未正月	1871	大模様
69	1120	流水菖蒲桜模様白地型紙	墨「同治拾年未正月立立三枚切当 蔵村友寄」	同治10年未正月	1871	大模様

	所蔵先 番号	型紙名称	文字情報	年号 抜粋	年号 西暦	型大きさ
70	1221	松皮菱枝垂れ桜雪輪に鶴 模様白地型紙	墨「同治拾年戌六月仕立三枚切 当蔵村 友寄記」	同 治10年 戌6月 仕立	1871	大模様
71	1070	松皮菱菊楓桜模様染地型 紙	裏「大清同治拾未四月下儀保村知 念にや 筑登之」	同治10未4月	1871	大模様
72	740	遠山楓梅模様白地型紙	「当蔵村 友寄筑登之」「(裏) 同治 拾年」「(裏) 御酒代」「(裏) 未正 月仕立当蔵村友寄筑登之」	同治10年	1871	中手模様
73	838	松梅鶴亀丸模様白地型紙	「御用御國 本」「友寄筑登之」「浦」 「同治十一年申三月仕立三枚切当 蔵村友寄筑登之」「(裏) 同治年一 当蔵村友寄筑登之」「(裏) 当蔵 村友寄」	同治11年申3月	1872	三分二 中手 模様
74	963	窓絵七宝桃椿模様白地型 紙	墨「同治拾壹年申申正月拾三日加 木調か那城間にや 知 知念筑登 之」	同 治11年申申正 月13日	1872	大模様
75	948	雲鳳凰牡丹模様白地型紙	墨「同治拾一年申正月当蔵村友寄」 「□同」裏「友」	同治11年申正月	1872	大模様
76	1080	藤牡丹燕模様白地型紙	墨「友寄筑登之」「渡久村」「同治 拾壹年申正月仕立当蔵村友寄」	同治11年申正月	1872	大模様
77	1264	流水菊鴨桜模様白地型紙	墨「同治拾一年申正月仕立三枚切 友寄 当蔵村」	同治11年申正月	1872	大模様
78	617	雲松皮菱桜模様白地型紙	「同治拾一年申九月仕立三枚切当 蔵村友寄」	同治11年申9月	1872	中手模様
79	695	窓絵菊楓笹梅模様白地型 紙	「(彫) □」「(朱) 下知」「同治拾壹 年正月正月六日架 下儀保村知念 筑登之親雲上」「加調人 下儀保知 念筑登之親雲上」「かな儀間」	同 治11年 正月正 月6日	1872	中手模様
80	31	幾何学模様白地型紙	「(彫) シムキ」「同治拾壹年壬申正 月ノ五日」「下儀保村知念筑登之親 雲上」	同 治11年 壬申正 月ノ5日	1872	中模様
81	1397	牡丹唐草小花模様白地型 紙	彫「キムシ」・台紙記「同治拾壹年 千甲正月吉日切調 三枚之内下儀 保村知念筑親雲上」	同 治11年 千甲正 月吉日	1872	中模様
82	916	霞に梅枝垂れ桜模様白地 型紙	墨「□奉 書 書大奉」「大清 同 治 拾七 年□」「二月 年回 差 当候時」「鳳凰牡丹楓之形 同治拾 一年壬申二月吉日位 上儀保□ □」裏「□□□」	同 治11年 壬申2 月/同治17年	1872/ 1878 ? (注8)	大模様
83	775	稲妻に雪輪内花模様白地 型紙	「(裏) 大清同治十貳年西五月廿九 日□仕立□□知念筑登之」	同 治12年 西5月 29日	1873	三分二 中手 模様
84	601	流水菖蒲桐鶴模様白地型 紙	「嘉比久親泊」「同治拾貳年西正月 仕立式枚切 当蔵村友寄筑登之」 「浦浦 友寄筑登之大」「仲手形御 酒代」	同 治12年 西正月	1873	中手模様
85	55	あられに鳥模様染地型紙	「(彫) 沢岷」「大清同治十四年乙亥 二月九日三枚切」「上儀保村大屋ノ 沢岷筑登之」	同 治14年 乙 亥2 月9日	1875 (注9)	細模様
86	805	芒に燕桜模様白地型紙	「(朱) 大清同治拾四年亥三月仕置 三枚功当蔵村友寄筑登之」「(朱) 当蔵村友寄記」	同 治14年3月	1875 (注10)	三分二 中手 模様

	所蔵先 番号	型紙名称	文字情報	年号 抜粋	年号 西暦 (注1)	型大きさ
87	710	鉄線模様白地型紙	「(彫) 下知」[同治十四年五月五日 屋良かけ□□]	同治14年5月5日	1875 (注1)	中手模様
88	1192	鴛鴦牡丹模様白地型紙	墨「光緒二年子四月仕立比嘉記」	光緒2年子4月	1876	大模様
89	1251	霞松枝垂れ桜模様染地型紙	墨「□□」[大清光緒三年丁丑三月 仕立三枚切 友寄記 当藏村]「沢 岬筑登之親雲上形紙三枚切之内当 藏村友寄 《三枚切内》 壹枚」[友 寄筑登之]	光緒3年丁丑3月	1877	大模様
90	669	芒梅蝶模様白地型紙	「光緒四年寅六月十九日城間小」	光緒4年寅6月19 日	1878	中手模様
91	703	稲妻に松竹梅鶴丸模様白 地型紙	「(彫) 沢岬」[裏] 大清光緒四年 戊寅三月十四日三枚切」[上儀保村 大屋 沢岬筑登之親雲上]	光緒4年戊寅3月 14日	1878	中手模様
92	530	簾松皮菱に蝶菊霞模様半 白地型紙	「光緒四年戊寅十月十三日あか□ 之知念筑登之」	光緒4年戊寅10 月13日	1878	中模様
93	603	流水梅松鶴模様白地型紙	「光緒五年己卯正月仕立当藏村友 寄」	光緒5年己卯正 月	1879	中手模様
94	1048	雲枝垂れ桜鳥模様白地型 紙	墨「下儀保村新垣」[下儀保村新垣 記] 裏「大清光緒十二年丙戌四月 廿五日三枚切 上儀保村大屋ノ 澤岬筑登之親雲上」	光緒12年 丙戌4 月25日	1886	大模様
95	1324	牡丹鳳凰丸模様白地型紙	裏「光緒拾貳年戌三月廿四加調仁 幸地殿内之前之 知念筑登之親 雲上」	光緒12年 戌3月 24	1886	大模様
96	1287	斜格子に桃梅牡丹模様白 地型紙	墨「明治廿 [ ] 十月廿日大城記」	明治2[ ] 10月 20日	1887- 1896 (注12)	大模様
97	1133	稲妻に雪輪菊鶴亀模様白 地型紙	墨「壹枚切」[光緒十四年戊子九月 十八日仕立 大屋之 澤岬賀間]	光緒14年 戊子9 月18日	1888	大模様
98	769	松皮菱に松梅模様染地型 紙	「光緒十六年清明月仕立此通壹枚 切 大屋之沢岬記」[大屋之]「沢 岬蒲戸」	光緒16年清明月	1890	三分二 中手模様
99	1280	牡丹鳳凰丸模様白地型紙	丸彫「知赤」墨「明治廿三年五月 仕立下儀保村□□□知念記」	明治23年5月	1890	大模様
100	1142	菖蒲貝雪輪模様白地型紙	彫「沢」墨「大清光緒十七年辛卯 田久志小」裏「？」	光緒17年辛卯	1891	大模様
101	161	梅鶴龜模様染地型紙	「明治三十三年庚子旧二月廿七日 三枚切仕立儀保之城間栄興」	明治33年庚子旧 2月27日	1900	中模様
102	365	楓梅尽くし模様白地型紙	「光緒廿六庚年□月十□□翁長」 「梅木の□□の春を [= = = = ]」 「出□板になてこも筑登之」	光緒26庚年□月 10□□	1900	中模様
103	263	草花蝶模様白地型紙	「明治四拾壹年旧正月吉日買入三 枚内 知念績昌」	明治41年旧正月 吉日	1908	中模様
104	382	梅松葡萄鳥模様染地型紙	「(彫) = 三 ヌ」[明治四十二年 旧西二月九日仕立 金城宜良」	明治42年 旧西2 月9日	1909	中模様

	所蔵先 番号	型紙名称	文字情報	年号 抜粋	年号 西暦	型大きさ
105	639	竹梅楓鶴亀模様染地型紙	「(彫) 金」 「五枚ノ内二枚ハアザナ 新垣ニユツル [= [= [=]] 番」 「明 治四拾四年亥旧二月十五日仕立金 城宜良」	明治44年 亥旧2 月15日	1911	中手模様
106	667	流水菖蒲枝垂れ桜鶴模様 白地型紙	「(彫) □ (力カ)」「金城宜良」 「明 治四十四年亥旧正月十三日□仕立 残ル四枚有ル」 「三番」	明治44年 亥旧正 月13日	1911	中手模様
107	123	桐鉄線桜模様染地型紙	「明治四十四年亥旧四月廿六日仕 立金城宜良四枚」	明治44年 亥旧4 月26日	1911	中模様
108	490	流水に貝桜楓鳥模様白地 型紙	「(裏) 大正四年卯八月廿四日山御 主前より買入」 「儀保大屋ノ知念 小」	大正4年卯8月24 日	1915	中模様
109	1362	葵橘梅楓模様染地型紙裏	「大正拾一年旧十月仕立新垣記」	大正11年旧10月	1922	大模様
110	1127	稲妻に雪輪菊鶴亀模様白 地型紙	裏「明治三十二年亥□□□□□□ □□」	明治32年亥	1989	大模様
111	378	松梅撫子霞模様染地型紙	「明治卅二年旧〃月吉日□知念記」 「大屋之三枚之内」	明治32年旧〃月 吉日□	1989	中模様
112	381	松竹梅鶴亀模様白地型紙	「(裏) 大屋ノ三枚之内」 「明治卅二 年旧二月吉日 (□) 知念記」	明治32年旧2月吉 日	1989	中模様

### 注

- (1) 嘉慶年間は25 (1820) 年までだが1821年を示していると解釈した。
- (2) 一枚の型紙に異なる年代が二例書かれているため、サンプル数としては2点に数えている。
- (3) 咸豊年間は11 (1861) 年までだが1862年を示していると解釈した。
- (4) 一枚の型紙に異なる年代が二例書かれているため、サンプル数としては2点に数えている。
- (5) 同治年間に戊年は1 (1862) 年と13 (1874) 年の2回あるため、いずれかを示していると解釈した。
- (6) 「治」の字が欠落しているが同治年間を示していると解釈した。
- (7) 年数が不明だが明治の元号が読み取れるため、1868～1912年間の資料と解釈した。
- (8) 一枚の型紙に異なる年代が二例書かれているため、サンプル数としては2点に数えている。
- (9) 同治年間は13 (1874) 年までだが1875年を示していると解釈した。
- (10) 同上。
- (11) 同上。
- (12) 年数が不明だが「明治廿 [ ]」とあるため明治20年代 (1887～1896) を示していると解釈した。

## 参考文献

鎌倉芳太郎『古琉球紅型 第一期』京都書院、1974

鎌倉芳太郎『古琉球紅型 第二期』京都書院、1979

鎌倉芳太郎『沖繩文化の遺宝』岩波書店、1982

『沖繩県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵 鎌倉芳太郎資料目録』沖繩県立芸術大学附属研究所、1998

原田あゆみ「鎌倉芳太郎の前期琉球芸術調査と美術観の変遷」『沖繩芸術の科学 沖繩県立芸術大学附属研究所紀要11』沖繩県立芸術大学附属研究所、1999

柳悦州「画像データベースの基礎構築-紅型型紙の比較研究のために-」『沖繩芸術の科学 沖繩県立芸術大学附属研究所紀要11』沖繩県立芸術大学附属研究所、1999

柳悦州 平田美奈子 豊見山愛『沖繩県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵

鎌倉芳太郎資料集 第一巻 紅型型紙（一）』沖繩県立芸術大学附属研究所、2002

柳悦州 平田美奈子 豊見山愛『沖繩県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵

鎌倉芳太郎資料集 第二巻 紅型型紙（二）』沖繩県立芸術大学附属研究所、2003

豊見山愛「鎌倉芳太郎コレクション型紙の文字情報について」『沖繩染織研究会通信 vol. 43』沖繩染織研究会、2006